都市対抗・関東代表決定戦

関東代表決定戦

2011/7/31　県営大宮球場

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	計
東京ガス	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	4
富士重工業	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2×	5

東京ガス

			打	安	点	振	球
8		濱田	1	0	0	0	2
	8	水島	1	0	0	0	0
4		藤井	4	1	1	0	0
H	4	岡澤	1	0	0	0	0
9		大崎	5	1	0	3	0
5		佐々木	6	2	2	1	0
2		松田	6	0	0	2	0
3		鮫島	5	1	0	1	0
7		坂井	4	1	0	1	0
D		黒田	3	1	0	1	0
H	D	山（徹）内	1	0	0	1	0
6		遠藤	4	3	1	0	0
		計	41	10	4	10	2

富士重工業

			打	安	点	振	球
5		船引	5	0	0	2	0
4	3	小川	6	1	1	1	0
8		金山	5	1	0	0	1
9		林	5	3	1	0	1
D		岩元	5	1	2	0	1
3		小杉	4	0	0	2	0
H	4	谷	2	1	1	1	0
7		金田	5	2	0	0	0
2		唐谷	3	1	0	1	1
6		富村	5	3	0	0	0
		計	45	13	5	7	4

TOKYO GAS		SUBARU
山崎、大島、岩佐、●石川	投　手	畠山、●平井
松田	捕　手	唐谷
	本塁打	小川
	三塁打	
佐々木、遠藤、黒田、坂井	二塁打	林

投手成績

	回	打者	安	振	球	点	責
山崎	4 2/3	21	5	2	1	3	3
大島	1/3	3	1	0	1	0	0
岩佐	5	21	6	4	1	0	0
石川	1 1/3	6	1	1	1	2	0

【特記事項】

＊延長１２回からタイブレーク（１死満塁からの攻防）

投手成績

	回	打者	安	振	球	点	責
畠山	6	25	5	4	2	3	2
平井	5 2/3	19	5	6	0	1	0

１日２試合のダブルヘッダーで行われる、関東代表決定戦、１試合目。先制し、主導権を握りたい打線は、初回。先頭の濱田が死球で出塁すると、併殺崩れなどで２死ながら２塁と先制のチャンスを迎える。ここで、主砲の佐々木がライトフェンス直撃のタイムリー２塁打を放ち、幸先良く１点を先制。しかし、先発を任された山崎は、初回に１死からソロホームランを浴び、すぐさま同点とされる。５回には、黒田の２塁打を足掛かりに藤井のタイムリーで得点し、再びリードを奪うも、またしてもその裏に２死１・２塁からマウンドを引き継いだ大島が２点タイムリーを許し、逆転される。しかし、７回に坂井が２塁打と敵失で３塁まで進むと、遠藤がタイムリーを放ち、同点に追いつく。そこからは、３番手の岩佐の好投などで、両チームとも無得点で、迎えた延長１２回。この回からは大会規定により、１死満塁からの攻防となるタイブレーク。表の東京ガスは、佐々木の内野ゴロの間に１点を奪い、リードして守りにつく。しかし、１１回から登板している４番手の石川は、犠牲フライで１点を許し同点とされると、２死からレフト前にサヨナラタイムリーを浴び、ゲームセット。３時間半に及ぶ激戦を落とした。。